



こなん SDGs カレッジ

SDGs未来都市の推進として、地域未来のロールモデルとなる若者が主体的に継続してまちづくりに参画できる仕組みづくりを進めています。



コナン市民共同発電所

市民からの出資を主体とした「コナン市民共同発電所」を設置。発電所で得られる売電益を地域商品券で配当し、地域活性化に取り組んでいます。



林福連携の取組

林業事業者と福祉作業所などの連携による木質バイオマス燃料の製造を進め、障がいのある人の雇用や指導員の育成などに取り組んでいます。

自然

野洲川の流れる美しい郷土。
水と緑を大切にし、
自然と調和したまちづくりを進めています。



歴史と伝統を未来につなぐ
国指定天然記念物

平松のウツクシマツ自生地 保存活用計画

この計画は、現在まで保存されてきた国の天然記念物である平松のウツクシマツ自生地の価値を将来へ継承していくために策定しました。市では、この計画に基づき、自生地の環境整備をしています。



自然に囲まれた 豊かな風景

水と緑、山と川、自然に恵まれた土地の湖南市は、野洲川付近一帯に平地が開け、山際には丘陵と山林がなだらかに形成しています。市では、「野洲川の清流山々の景色 歴史が育むうつくし湖南」を環境未来像に定め、広域的・長期的に自然環境を守る施策を進めています。

平松の ウツクシマツ自生地

国の天然記念物に指定されており、根元近くから幹が複数に分かれた美形の極めて珍しい松が群生しています。

湖南市の自然環境

市域は南側の阿星山系と北側の岩根山系にはさまれ、緑豊かな平地が広がっています。また、市の中央を流れる野洲川は、市を代表するシンボルとして市民に親しまれています。



岩根山(十二坊)



野洲川(石部頭首工)

美しい湖南市を 未来へとつなぐ

地球温暖化による気候変動に伴い、環境のさまざまな影響が懸念される中、湖南市は令和4年11月に脱炭素先行地域に選定され、国が宣言した2050年カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいます。脱炭素先行地域づくり事業のもと、再生エネ設備の導入や脱炭素に関する地域課題の解決などを進めています。



脱炭素先行地域に選定

令和2年、内閣府から「SDGs未来都市」に選定後、「ゼロカーボンシティ宣言」を公表。その後、第2回脱炭素先行地域に選定されました。

脱炭素

「さりげない支えあいのまちづくり
オール湖南で取り組む脱炭素化プロジェクト」
持続可能なより良い未来のため取り組んでいます。

持続可能な まちづくり

きらめきⅡ

